

●編集／社会福祉法人やすらぎ会 広報委員会

平成18年1月15日発行

やすらぎ

第30号
新年号

特養住民／野中 ツナ 筆

今日も雪だなあ～



表紙の写真

吹雪の中、かたくりの園に行くことを楽しみにしている新町の大川キサさん。



楽しく笑って参加、介護者教室

できるだけ地域の人たちのあいだで、同じような気持ちで興味を持って介護者教室に参加してもらおう。それが、これからのみなさんのよりよき生活に必要と考えて、沢内圏域を4箇所に分けて、同じ内容で介護者教室を公民館で行うことにしました。さらに、地域の人々の「やってみようかな」や「なるほどそうなんだ」という考えや気持ちに刺激するため、各公民館で2回ずつ実施しています（4箇所目は検討中）。

そして、今年度のテーマは「サロン活動」と言われていますが、つまり「茶のみ話」の大切さ、必要なわけを知ることです。高齢の人の心配不安は様々あるでしょうが、寝たきりやボケ（認知症）になることは大きなひとつです（本当は四〇歳から特別な用心が必要）。今は原因や予防が、昼のテレビで紹介されるなどで、実行している人もあるかと思えます。

たぐさんの予防方法がありませんが、「ほんとうにたいせつなことは、どの方法でもよいから人の輪をつくって笑いながら」実行することです。ピンとこな

いかもしれませんが、まずは茶のみ話なのです。

2回の内容は、茶のみ話にまめに出て歩けるための足裏感覚の注目と、高齢社会を楽しく暮らすヒントの語り合いです。「足裏感覚」の参加者には、さっそく、しまっていた下駄を愛用するようになった人がいました。そして「語り合い」は、参加者と講師で朗らかに笑い合い「へーなるほど」と感心していました。

どちらの講師も盛岡からその度ごとに足を運んでくれ、どちらも「沢内のみなが元氣になつてくれるならいいですよ」とみなさんを励ますかのように話してくれました。

また、今回は地域の力をお借りすることを特に相談無く実施しましたが、円滑に進められたことを感謝しています。これであれば、寝たきりやボケの予防に有効な茶のみ話が、楽しく広がって行くかもしれません。

くすりをたくさん飲むことや金銭、物をたくさん持つことではなく、「出て歩くところをいっつか持つことが介護予防の良い道です。」

相談員 前島 正人

通院等乗降介助

いよいよ営業開始 2月1日より



この度購入となった介護タクシー



介護保険での通院等乗降介助事業をすすめるにあたり、運行管理者試験を受験するなどして営業開始に向けて準備をすすめて参りました。

この度十一月十五日付をもって東北運輸局長より一般乗用旅客自動車運送事業、同じく介護輸送サービスに係る運賃の設定にかかわる認可書、許可書が交付されましたので、いよいよ営業を開始することができるようになりました。

いろいろな条件・制約がありますが、利用者に喜んでもらえるよう努力に努めて参ります。

●利用できる外出先

継続的な治療のための病院への通院

●利用できない外出先

お見舞い、理美容、お墓参り、買い物、預金の引き下ろし、旅行など

《通院等の為の通院等乗降介助》
 外出介助とは：通院等のため、ホームヘルパー（訪問介護員等）が自らの運転する車両への乗車又は降車の介助を行うとともに、乗車もしくは降車後の屋内外における移動等の介助、通院先もしくはは外出先での受診等の介助を行うことです。

《通院等乗降介助の内容》

- ①着替えや整容、持ち物の確認のための外出準備
- ②歩行及び車椅子での介助
- ③乗車及び降車の際の介助
- ④病院内での歩行や車椅子の介助
- ⑤診療の受付など

利用できるのは：介護保険での要介護認定区分が、「要介護1〜5」の方に限られます。（自立及び要支援とされておられる方については、通院等乗降介助は利用できません。）

趣味や趣向に関わる外出、地域での行事や交流会などへの参加には利用できないことになっております。

介護保険の通院等乗降介助は「訪問介護（ホームヘルプサービス）」です。通常のタクシー料金に補助を行うものではありません。

施設長 高橋 一雄

居住棟の生活

今年の十一月から生活支援ハウス七部屋計九名の方が入居され、賑やかな生活が始まりました。

この時期になると、雪かきや買物の不便あるいは自宅が寒いなどの理由で入居希望者が増えます。

部屋の様子ですが、居室により一人部屋と二人部屋があり、各部屋に台所やトイレ（風呂と洗濯機は共同）、テレビや冷蔵庫など生活必需品が備わっています。また、緊急時に職員が対応できるよう、ナースコールも設置されています。食事は自炊ですが、ぶなの園からの配食弁当をとって食べている方もいます。

外販として、週一回よろずやさん、週二回牛乳屋さん、パン屋さん、他に猿橋商店さんのように注文すると届けてくれるお店もあります。

お風呂は、本来ならば夜寝る前に入りたいところですが、職員見守りのため、日中かたくりのデイサービスにいられた方と週三回、交流しながら入浴されています。

入居利用されている方数名に、「ここでの生活はどうですか？」と伺ったところ、「家と違い、暖かくてとってもいいな。」という声や「以前は一人で暮らしていたが、ここはみんながいるから楽しい。」という声が返ってきました。

今年は、例年よりも早く雪が積もり、寒い日が続いておりますが、支援ハウスの中は暖かく快適のようです。

毎日、となり近所で「起きたか？まます食ったかあ？」と声をかけ合い生活されています。

介護職 内記 美雪

今日の夕食、
何にしようかなあ～
(居住利用者：新田巴さん)



法人役員紹介

社会福祉法人やすらぎ会では、昨年の十一月に役員改選を行ない、理事八名、監事三名、評議員十七名の方が選任されましたので、ご紹介させていただきます。任期は二年です。よろしくお願ひします。

(敬称略)



理事長
深澤 貞夫



理事
高橋 勝



評議員
高橋 宏



評議員
渡辺 哲哉



評議員
久保 良子



監事
三浦 浩信



評議員
加藤 茂



評議員
小森 一彦



理事
高橋 善一



理事
山鼻 眞一



評議員
高橋 松栄



評議員
米澤 一男



評議員
照井 満



理事
真壁 信男



理事施設長
高橋 一雄



評議員
坂巻 潤子



評議員
高橋 昭男



評議員
和泉 隆



理事
高橋 貞夫



監事
高橋 幸一



評議員
高橋 正夫



評議員
菅原 巧



評議員
深澤 順雄



理事
佐々木 剛



監事
照井 重三



評議員
大島 和久



評議員
南川 賢一



評議員
高橋 幸夫

疥癬の報告

特別養護老人ホームぶなの園において9月から数名が発症した「疥癬」という皮膚の感染症について、その発症の経緯と現状のご報告をさせていただきます。

まず、九月一日にぶなの園住民一名の皮膚の一部を協力病院で検査していただいた結果「疥癬」の診断を受けました。これまでぶなの園では数回疥癬の発症があり、「二接触一消毒」を基本にした再発予防の対応を日ごろから実施してきたところですが、にも関わらず再発という事態に至ってしまい、私たち職員の間で危機意識、予防対策が不十分であったことは間違いありません。

その後数名の住民および職員に発疹やかゆみの症状が見られ、

十月十五日に専門医を受診した結果新たに住民二名と職員一名の発症が確認されました。さらに十月中にもう二名の住民が発症され、九月から十月にかけて合わせて住民五名、職員一名が疥癬の診断を受けました。発症された方に対しては毎日の入浴やシーツ交換をしながら医師の指導による治療を続け、そのほとんどが十一月には治癒。そして十二月十七日に専門医を受診した結果、全員の治癒が確認されました。また、十一月以降は新たな発症もなく現在まで経過しております。

九月に最初に発症した住民の感染経路については特定できておりませんが、どこかで生きて

いた病原体が職員を介して感染した可能性は十分に考えられます。

今後同じ繰り返しをしないよう、これまでの感染予防対応の根本的な見直しが必要であり、同時に職員の意識統一が十分に図られるよう努めてまいります。

看護職主任 佐々木 菜穂子

疥癬とは次のような病気です。

- ①ダニの一種であるヒゼンダニが人の皮膚表面の角層にもぐりこみ、それによって発疹や激しいかゆみが見られます。
- ②通常は皮膚と皮膚が接触することによって感染し、感染すると約一ヶ月間の潜伏期間を経てから症状が現れてきます。発症されている方に接触しても、すぐに石鹸で手洗いをすれば感染する心配はほとんどありません。
- ③発症したら医師の指導により治療していくこととなりますが、入浴等による清潔保持が効果的であり、予防にもつながります。
- ④ヒゼンダニは熱や乾燥に弱く、衣類や寝具を五十度のお湯に十分間つけければ死滅します。熱風乾燥機も効果があります。
- ⑤重症の疥癬（角化型疥癬）の場合は、感染力および症状がかなり強くなるため、隔離対応など厳重な対策が必要となります。

- 特別養護老人ホームぶなの園
- デイサービスセンターぶなの園
- 沢内村在宅介護支援センター
- ホームヘルプステーションぶなの園
- 西和賀介護相談室

西和賀町沢内字太田2地割135番地
電話 0197-85-2322

- 沢内村高齢者生活福祉センター
かたくりの園

西和賀町沢内字大野17地割140番地1
電話 0197-85-3388

ぶなの園 待機者情報

(平成17年12月31日現在)

①出身地別状況

沢内村 (24名)	秋田県 (2名)
湯田町 (9名)	東京都 (1名)
北上市 (4名)	

②介護度別状況

要介護1 (9名)	要介護4 (8名)
要介護2 (9名)	要介護5 (7名)
要介護3 (7名)	

合計40名

※入所を希望される方は、担当のケアマネージャ及び、ぶなの園までご連絡下さい。

編集後記

除雪を考えると憂鬱になりがちな冬の早朝であっても、朝日が顔を覗かせてくれると、なぜかホッと安心します。

先日、朝日が眩しい中の朝食時、ある住民の方が話されました。

『朝のデッカーリ(光)ど、しゅどんば(姑)のニッコリは油断ならね』(。^。^;))

こんな笑い話も交えつつ、今年も楽しく穏やかに暮らして行きたいものです。

やすらぎ

第30号 平成18年1月15日発行

社会福祉法人やすらぎ会
広報委員会

高橋 宏明 高橋 直美
上中屋敷陽子 佐々木菜穂子
高橋 浩子

善意

平成17年9月～12月

ありがとうございました
感謝申し上げます

【ご寄贈】

- ・沢内村商工会婦人部 様
- ・岩手県看護協会北上支部 様
- ・猿橋小学校 様

【ボランティア等】

- ・どれみの会 様 (洗濯たたみ等)
- ・深沢 久一 様 (畑作業手伝い)
- ・石川 千加子 様 (住民介助)
- ・新田 忠義 様 (楽器演奏)
- ・高橋 昭士・和子 様 (唄、踊り披露)
- ・西和賀町民謡保存会 様 (踊り披露)
- ・せんだん保育所 様 (踊り披露)
- ・有馬 絹 様 (唄披露)
- ・カトレア会 様 (踊り披露)
- ・趣味の会 様 (踊り披露)
- ・伊勢 郁 様 (唄披露)
- ・長瀬野婦人会 様 (住民忘年会)
- ・沢内中学校 様 (餅つき、踊り披露)
- ・和泉盈様及び民生委員の皆様 (餅つき)



ホーム喫茶のご案内

開店日 1月20日(金)
2月17日(金)
3月17日(金)

ご利用時間 14:00～16:30

場 所 ぶなの園 地域交流の場

お待ちしております!

在宅介護のお悩みは

在宅介護支援センター

にご相談ください。

【電話番号】

0120-85-2319 (支援センター直通)

85-2322 (土・日・祝日、夜間対応)

お気軽にどうぞ!

